

安全データシート  
(SDS)

作成日 2017年6月20日

改訂日 2018年4月20日

## 1. 製品及び会社情報

製品名	ハーバルデコラオイル
会社名	パレス化学株式会社
担当部門	技術部 第三研究グループ
作成部門	技術部 第三研究グループ
住所	神奈川県横浜市金沢区福浦1丁目11番16号
電話番号	045-784-7245
FAX番号	045-788-1928
緊急連絡先	技術部 第三研究グループ 045-784-7245
推奨用途及び使用上の制限	花関連資材
整理番号	68175021-2

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類		
物理化学的危険性	金属腐食性物質	分類できない
	引火性液体	区分外
	可燃性固体	分類対象外
人健康有害性	急性毒性（経口）	区分外
	急性毒性（経皮）	分類できない
	急性毒性（吸入：気体）	分類対象外
	急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
	急性毒性（吸入：粉塵／ミスト）	分類できない
	皮膚腐食性／刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）	分類できない(全身)
	特定標的臓器／全身毒性（反復暴露）	分類できない(全身)
環境有害性	吸引性呼吸器有害性	分類できない
	水生環境急性有害性	分類できない
	水生環境慢性有害性	分類できない
	オゾン層への有害性	分類できない

## GHS要素

## 絵表示

## 注意喚起語

該当なし

## 危険有害性情報

## 注意書き

## 安全対策

- ・使用前にSDSを参照すること。
- ・涼しい所に置き、日光を避けること。
- ・容器を密閉しておくこと。
- ・他の容器に移し替えないこと。
- ・粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
- ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・必要に応じて個人用保護具を使用すること

## 応急措置

- ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること

。気分が悪い時は、医師に連絡すること。

・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

・皮膚に付着した場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと／取り除くこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。

保管

・涼しい所／換気の良い場所で保管すること。

廃棄

・内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託する。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

単一物質

一般名

成分及び含有率

添加剤

100%

化学特性(化学式)

特定できない

CAS No.

企業秘密なので記載できない

官報公示整理番号(化審法、安衛法)

企業秘密なので記載できない

危険有害性成分

労働安全衛生法(第57条の2)通知対象物質

対象名	政令番号	含有率(%)	CAS No.
—	—	—	—

労働安全衛生法(第57条)表示対象物質

対象名	政令番号	含有率(%)	CAS No.
—	—	—	—

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

対象名	政令番号	該当	含有率(%)	CAS No.
—	—	—	—	—

### 4. 応急措置

吸入した場合

:新鮮な空気のある場所に移す。身体を毛布などでおい保温して安静を保ち、必要なら医師の手当を受ける。

皮膚に付着した場合

:直ちに汚染された衣服や靴等を脱がせ、付着部又は接触部を石鹼水で洗浄し、多量の水で洗い流す。

目に入った場合

:もし皮膚に痛みが残ったり炎症を生じた場合には医師の手当てを受ける。  
:直ちに多量の水で数分間注意深く洗い、痛みや刺激が続く場合は医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合

:コンタクトレンズ着用の場合は、外してその後も洗浄を続ける。  
:水で口の中を洗浄する。多量の水を飲ませて、可能であれば吐き出させ、直ちに医師の手当てを受ける。

### 5. 火災時の措置

消火剤

:粉末、泡、二酸化炭素、乾燥砂、霧状の強化液。

消火を行う者の保護

:消火作業の際には必ず適切な保護具を着用し、風上から実施する。

火災時の特定危険有害性

:水分を含有しているため可燃性ではないが、水分が揮発すると可燃性となる。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

:作業の際には必ず保護具を着用する。

:付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をする。

環境に対する注意事項

:河川、下水道等に排出されないように注意する。

除去方法

:少量の場合は、土砂、ウエス等で吸収させて回収し、その後をウエス等で完全に拭き取る。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い：

安全取扱い注意事項 :吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように適切な保護具を着用する。  
:使用前にSDSを参照すること。  
:接触、吸入又は飲み込まないこと。  
:取扱い後はよく手を洗うこと。  
注意事項 :用途以外には使用しないで下さい。  
:製品が衣類等に付着するとシミになる事があります。衣服に付着しないようにしてください。  
:使用後は必ず密栓し、冷暗所で幼児や子供の手の届かない所に保管して下さい。

### 保管：

技術的対策、混触禁止物 :容器は密栓して、換気良好な冷暗所に貯蔵する。  
:

## 8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度 :設定されていない  
許容濃度 :設定されていない  
保護具 :必要に応じて個人用保護具を使用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

形状 : 液体  
色 : 無色  
臭い : なし  
pH : データなし  
融点・凝固点 (°C) : データなし  
流動点 (°C) : -50  
沸点 (°C) : データなし  
引火点 (°C) : 330.0 250°C<  
密度 (g/cm<sup>3</sup>) 15°C : 0.97  
水に対する溶解性 : 不溶  
有機溶剤に対する溶解性 : 微溶  
分解温度 (°C) : データなし  
爆発範囲(爆発限界推定vol%) : 下限 : データなし  
: 上限 : データなし  
オクタンol/水分配係数 : データなし  
自然発火温度 (°C) : データなし  
蒸発速度(揮発性) : データなし  
蒸気圧 (kPa) : データなし

## 10. 安定性及び反応性

安定性・反応性 :強酸化剤との接触を避ける。

## 11. 有害性情報

### 製品としての有害性情報

急性毒性 (経口) : 区分外  
急性毒性推定値 (経口) LD50 (mg/kg) : 5000<  
急性毒性 (経皮) : 分類できない  
データがないため  
急性毒性 (吸入: 気体) : 分類対象外  
形状が気体ではないため  
急性毒性 (吸入: 蒸気) : 分類できない  
データがないため  
急性毒性 (吸入: 粉塵/ミスト) : 分類できない  
データがないため  
皮膚腐食性/刺激性 : 分類できない  
データがないため  
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : 分類できない

呼吸器感作性	: データがないため : 分類できない
皮膚感作性	: データがないため : 分類できない
生殖細胞変異原性	: データがないため : 分類できない
発がん性	: データがないため : 分類できない
生殖毒性	: データがないため : 分類できない
特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）	: 全身 : 分類できない : データがないため
特定標的臓器／全身毒性（反復暴露）	: 全身 : 分類できない : データがないため
吸引性呼吸器有害性	: 分類できない : データがないため

## 12. 環境影響情報

## 製品としての有害性情報

生態毒性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生態蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 投棄禁止。 : 燃焼ガスには、一酸化炭素、二酸化炭素、硫黄酸化物、塩素系ガス、窒素化合物、リン酸化合物等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には煙の吸入を避ける。
-------	---

## 14. 輸送上の注意

国際法規制	: 航空輸送は、IATA及び海上輸送は、IMDGの規則に従う。
国内法規制	: 下記の輸送に関する国内法規制に該当するので、各法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。
陸上	: 消防法 指定可燃物, 火災予防条例, 可燃性液体類
海上	: 船舶安全法 非危険物 個別運送およびばら積み運送において
航空	: 航空法 非危険物
国連分類	: 非該当
国連番号	: 非該当
注意事項	: 消防法の危険等級Ⅲに適應する運搬容器に収納して運搬する。 : 容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込む。 : 荷くずれの防止を確実に言う。
輸送の特定の安全対策及び条件	: 輸送前に容器の破壊、腐食、漏れなどが無いことを確認する。 : 転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に言う。 : 該当法規に従い包装、表示、輸送を行う。 : 火気厳禁。

## 15. 適用法令

消防法	: 指定可燃物 火災予防条例 可燃性液体類
労働安全衛生法（第57条の2）通知対象物質	: 非該当
労働安全衛生法（第57条）表示対象物質	: 非該当
労働安全衛生法 危険物	: 非該当
有機溶剤中毒予防規則	: 非該当
特定化学物質等障害予防規則	: 非該当
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR)	: 非該当

毒物及び劇物取締法  
化学物質審査製造規制法  
廃棄物の処理及び清掃に関する法律

: 非該当  
: 特定化学物質、監視化学物質に該当せず  
: 産業廃棄物規則(拡散、流出の禁止)

## 16. その他の情報

### 参考資料

- ・ 米国産業衛生専門家会議 : ACGIH (2008年度版)
- ・ 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 GHS分類結果データベース
- ・ 原材料のSDS
- ・ 日本産業衛生学会 「許容濃度の勧告理由書」
- ・ 化学品の分類および表示に関する世界調和システム (GHS) 改訂5版

本製品安全データシートに関する問合せ先

「1. 製品及び会社情報」に記載の連絡先にお問合せください。

\* 本製品安全データシートの内容記載は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、法令の改正や新しい知見により改訂されることがあります。

本製品を扱う場合は記載内容を参考にして、使用者の責任において実態に即した安全対策を講じてください。

尚、本製品安全データシートは安全や品質の保証書ではありません。

— 以上 —